

第21期(平成25年度)事業報告書、貸借対照表
及び損益計算書

有限会社 豊田あぐりサービス

下関市豊田町大字八道601番地3

第 21 期 事 業 報 告 書
(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

1. 事業経過

豊田めぐりサービスは、豊田地域の農業従事者の高齢化や担い手の減少による農地の荒廃を阻止するため、第3セクターとして平成5年に設立し、当初、農作業受託を中心に活動を行ってきましたが、平成18年から下関市豊田農業公園「みのりの丘」を管理運営する指定管理者の指定を受け、公園施設の管理を通じた雇用の確保と、地域農業の一翼を担っております。

こうした趣旨を踏まえ、様々な業務を行っておりますが、地域農業を支える農作業の受託業務は、地域内に農業生産法人や営農組織の育成が推進されていることから、無人ヘリ農薬散布を除き、減少傾向にあります。また、農業公園施設の利用者・来園者数については、農業体験やイベント等、毎年工夫を凝らして実施しておりますが、減少傾向にあります。さらに、施設の老朽化や景観に目新しさが無いことなど、来園者の減少の一因と考えます。

平成25年度の経営状況につきましては、全体としてプラス決算に転じたものの、経常損益については、損失の縮小はできたものの依然マイナスの状況にあります。プラス決算の要因としては、売上高の増加と経費の削減に努めたことや営業外収益が増加したことなどによるものです。しかしながら、温室ハウス部門、肉用牛繁殖肥育施設部門は、引き続き厳しい状況にあります。

2. 部門別の実績

(1) 一般管理

一般管理費については、ホームページの開設や公的広報誌等の活用、電気料金プランの変更等により、広告宣伝費、光熱水費、事務費を削減するとともに、各業務に係る委託料や賃借料を見直すなど、多岐にわたり経費の削減に取り組みました。

人事面においては、従業員1名を正社員にし、代表役員が非常勤から常勤になったことから、役員報酬と給与の増加による法定福利費が増加しました。

人件費については、夏季・冬季の農閑期において、パート職員の勤務時間の短縮を行い、人件費の縮減に努めました。

また、職員の資質向上のため「農の雇用事業」に取り組み、若手社員の農業技術向上に努めました。

(2) 公園管理

公園内の景観を保つため、定期的な除草や花の植栽などを行いましたが、平成21年に植栽した「芝桜」の植生が回復せず株が減少し、春の開花時期に花が少ない状況とな

りました。

平成 25 年度は、専門業者に管理委託を行わなかったため、管理が行き届きませんでした。

(3) 農作業受託

普通作物の作業受託状況は、農業法人や営農組織の増加により、耕耘、田植え、刈取りなどは、減少傾向にあります。

平成 25 年度は、天候不順による作業の遅れに加え、オペレーターの経験不足による効率の悪さや機械トラブルの発生など、オペレーターの技術向上が課題として残りました。

田植え作業は、7.5ha で前年より 15%減少、水稻苗の配達も、14,580 箱 (72.9ha 相当) で、12%減少しました。その他耕起・代かきは、0.2ha の受託作業を実施しました。また、稲刈りは、刈取り面積 34.7ha で、前年より 4%増加しました。

大豆作業は、除草、中耕作業から刈取り・乾燥調製作業を受託し、黒大豆 (のんたぐろ)・白大豆 (サチユタカ) を新規導入したコンバインを含め、2 台で 21.6ha の作業を行い、前年より 3%の増加となりました。

そばは、刈取り・乾燥調製作業を受託し、面積 1.3ha で、前年比 72%となりました。

たまねぎの受託作業は、10 月から豊浦・菊川地区を含め 2.1ha の定植、畝立て作業を行い、農業公園内にも前年と同様 0.3ha の定植をしました。定植適期に天候が不順で作業が遅れましたが、生育は順調に推移しております。

平成 24 年秋に定植した農業公園内のたまねぎは、その後の適正管理、天候にも恵まれ、平成 25 年 6 月に 12t を収穫し、前年比 171%となりました。豊田道の駅「螢街道西ノ市」、JA 下関の「いただきマート」、学校給食共同調理場、農業公園内の特産品販売所で販売し、7 月から 12 月までの間、市況に応じた価格を設定したことから、販売額が大幅に向上しました。また、たまねぎの収穫体験も行い、40 組が体験されました。

(4) 無人ヘリコプター農薬散布

平成 25 年の当社の防除面積は、出穂前、出穂後の延べ面積 141.3ha で、前年比 89%となりました。要因としては、新規オペレーター 2 人の育成のため、作業効率が上がらなかったことが挙げられます。しかしながら、市内全体の受託面積は 2,900ha で、前年比 101%と増加傾向にあります。

また、新規に大豆 2.5ha の防除を行いました。

(5) 堆肥製造販売

堆肥製造の原材料である家畜糞尿は、畜産農家の減少のため、施設への搬入が減少してきています。施設の利用状況は、原材料が 488t (2 戸 1 法人) 搬入され、販売量は 131t で、前年比 85%となりました。水分調整材として使用するもみ殻、おがくずの必要量の確保が難しいことや冬季の需要期に製品化設備のベルトコンベアが故障したことなどにより、製品の製造量が減少したことが、主な要因と思われます。

ミネラル散布は、他業務の作業と重なり適期散布が難しい状況でしたが、委託者との

調整により、14.4ha 散布を行い、結果として前年より 13%増加しました。

(6) ライスセンター

ライスセンターの利用状況は、59 戸、36.9ha 相当の^{もみ}籾処理量 198t で、前年比 5%程度増加しました。また、米の品質は、夏場の高温障害により低下し、くず米が多く発生(8.4%)しました。

(7) 温室ハウス

サラダホウレンソウ部門は、前年と同様の品種、栽培管理を行ったにもかかわらず、収穫量が 6.7t で、前年比 54%となりました。原因として、長年、ハウスや栽培システムの除菌・清掃管理を行っておらず、病害の多発により収量・製品率ともに低下したため、12 月で栽培を中止し、ハウス内と養液循環システムの徹底した清掃・除菌を行いました。

販売実績は、販売単価や販売先の見直しと新規開拓などに努めましたが、販売額は前年より 36%減少する結果となりました。

トマト部門は、例年同様「フルティカ」を選定し、栽培方法を「連続摘心法」から「斜め誘引法」に切り替えた結果、樹勢が保たれ、収量は 2.9t と前年比 2%減となりましたが、販売額は 2,337 千円で、前年より 14%増加しました。

イチゴ部門は、新たに山口県の後継候補品種「かおり野」と従来の「さちのか」を栽培しました。初期生育は順調で、2 品種ともに年内出荷ができましたが、その後の温度、日照管理が不十分で冬眠状態となり、樹勢の回復と花芽分化が遅れたものの、収穫量は、1.55t と前年比 36%増となりました。イチゴ狩りの入園者数は 533 人と前年比 74%に落ち込んだものの、販売価格の見直しを行ったことから、販売額はイチゴ狩りを含め前年比 30%増の 2,270 千円となりました。

(8) 果樹

梨部門は、4 月の開花時の天候が不安定で、霜害や低温による交配不良により、着果数が減少したものの一果重が大きく、収穫量は前年より 6%減の 29t となりました。梨狩り入園者数は、過去最高の 2,104 人となり、アクセスの良さと観光のしやすさがリピーターにつながったものと思われます。販売額は、梨狩りを含め、前年比 81%の 5,783 千円となりました。

ブドウ部門では、平成 22 年の大雪による被害以降、順次補植を行っていますが、獣害もあり対応に苦慮しています。そうした中で、24kg の収穫を得ることができたことは将来につながるものと期待しております。

桃・ブルーベリー等その他の果樹は、ブルーベリーは増収したものの、その他は管理不十分で減収となりました。

(9) 地域食材供給施設

物販部門の来客数は、年々増加傾向にあったものの、平成 25 年度は、前年比 5%減の 23,451 人となりました。反面、販売額については、5%増の 20,668 千円となりまし

た。要因は、5月からの「ジビエ商品」に加え、冬季のトマト販売が好評で、その相乗効果により1人当たりの購買単価が増加したものと思われます。

食堂部門では、来客数は16,095人で前年比5%減、販売額は4%減の13,820千円となりました。「手打ちそば」は好評であり、ジビエや山口高原豚を使った新しいメニューも開発し、来客数の拡大に努めました。

豆腐やアイスクリームの製造販売については、順調な伸びを示しております。

(10) 精米・製粉施設

精米製粉は、豊田町内の農業者や地元加工団体などからの依頼が多く、製粉は、米、大豆、そばの持ち込みが87件、2.7tで前年度より17%減、精米は、2%増の296件、43.3tの処理を行いました。

(11) 体験・都市農村交流

農業体験部門は、全体的に体験者数が減少傾向にあり、体験人数は、前年比73%の1,129人、体験料収入は、76%の866千円となりました。

「そば打ち」「豆腐づくり」を中心とした加工体験は、当初からの体験メニューであることや少人数での体験が多かったことなどが、影響していると思われます。

農業体験については、「稲作体験」をはじめ、「芋づくり体験」「たまねぎ収穫体験」など、7メニューについて、毎年工夫をしながら実施しておりますが、悪天候で中止せざるを得なかった体験やイベントがあったことも影響しました。

市民農園は、現在9区画が契約され残り31区画の内、17区画は草刈り、⁺鋤き込みを行い準備しておりましたが、問い合わせはあるものの駐車場や^くトイレ、水汲み場がないことから、新たな利用者の確保はできませんでした。

長期宿泊施設は、4棟のうち1棟が年度末にかけて補修工事を行ったことから、使用できなかったものの、宿泊者には野菜作り等、積極的に農作業をさせ、イベントにも家族で参加していただきました。

短期宿泊施設は1棟で、冬季を含め利用者は増加しており、特に土・日を含め学校の休日は利用申込が多く、3割程度はお断りする状況です。利用者数は、前年比12%増の913人となっております。

(12) 肉用牛繁殖育成施設

現在の飼養状況は、肉用繁殖牛25頭、育成・子牛が15頭の計40頭を飼育しております。市場への出荷頭数は、子牛14頭、成牛2頭の計16頭で、前年より45%の増、販売額は61%増の6,875千円となりました。要因は、出荷までの飼養管理の改善により、1頭当たりの評価が高く、販売単価が前年に比べ向上したことによるものと考えられます。

しかしながら、繁殖率は50%程度で改善の余地を残しました。

3. 事業成績の推移

(単位：円)

年 度 (期)	23年度 (第19期)	24年度 (第20期)	25年度 (第21期)
売 上 高	194,042,398	200,002,443	202,607,347
当期純利益	287,687	△11,274,446	1,954,837

第 2 1 期

決 算 報 告 書

平成25年 4月 1日から

平成26年 3月31日まで

有限会社 豊田めぐりサービス

貸借対照表

商号 有限会社 豊田あぐりサービス

代表者 上川 正昭

平成26年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産	(24,191,406)	I 流動負債	(22,608,569)
現金及び預金	9,992,146	短期借入金	8,000,000
な掛卸資産	2,144,482	未払法人税等	13,500,878
たな取入	11,090,229	未払消費税	182,500
未立貸倒引当金	751,079	未払人費	898,800
	230,470	預り	26,391
	△ 17,000		
II 固定資産	(20,452,282)	II 固定負債	(12,502,570)
有形固定資産	(19,501,573)	長期借入金	11,304,370
構築物	5,162,325	長期未払金	1,198,200
機械及び装置	12,482,290		
建物	234,795		
構築物附属設備	51,832		
運搬器具	227,977		
工具、器具及び備品	1,282,354		
その他の有形固定資産	60,000		
無形固定資産	(227,864)		
電話加入権	227,864		
		負債の部合計	35,111,139
		(純資産の部)	
		I 株主資本	(9,532,549)
		1. 資本金	15,300,000
		2. 資本剰余金	(0)
		3. 利益剰余金	(△ 5,767,451)
		(1) 其他利益剰余金	(△ 5,767,451)
		別途積立金	50,000
		繰越利益剰余金	△ 5,817,451
		II 評価・換算差額等	(0)
III 繰延資産	(0)	III 新株予約権	(0)
		純資産の部合計	9,532,549
資産の部合計	44,643,688	負債・純資産の部合計	44,643,688

損益計算書

平成25年 4月 1日から
平成26年 3月31日まで

商号 有限会社 豊田あぐりサービス

(単位：円)

科 目	金 額		
I 売上 上 高 の 他 業 収 指 定 管 理 料 取 入	79,289,384 111,801,963 11,516,000	202,607,347	202,607,347
II 売 上 原 価 期 首 上 仕 卸 商 品 品 作 業 入 当 期 勘 定 振 替 合 他 期 末 上 総 卸 期 売 上 総 利	18,364,777	2,034,498 18,364,777 145,431,091 165,830,366 972,876 1,591,799	163,265,691 39,341,656
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 販 売 費 業 務 損 耗 費 失		41,820,955	41,820,955 2,479,299
IV 営 業 外 収 益 受 取 配 利 当 金 入 雑 取 取		2,418 5,780 4,268,402	4,276,600
V 営 業 外 費 用 支 払 利 息 割 引 料 失 雑 損		524,728 2,088,734	2,613,462
経 常 損 失			816,161
VI 特 別 利 益 国 庫 補 助 金 等 収 入 貸 倒 引 当 金 戻 入		3,090,000 10,000	3,100,000
VII 特 別 損 失 固 定 資 産 除 却		146,502	146,502
税 引 前 当 期 純 利 益 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 当 期 純 利 益		182,500	2,137,337 182,500 1,954,837

販売費及び一般管理費の計算内訳

平成25年 4月 1日から
平成26年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
給 与 手 当	16,338,871
旅 費 交 通 費	1,755,861
廣 告 宣 伝 費	206,000
容 器 包 装 費	2,490,864
支 払 手 数 料	22,404
役 員 報 酬	3,085,200
事 務 員 給 与	1,820,504
従 業 員 賞 与	700,001
法 定 福 利 費	5,052,316
福 利 生 費	87,393
減 価 償 却 費	612,993
地 代 家 賃 ・ リ ー ス 費	893,729
事 務 用 消 耗 品 費	586,591
通 信 費	880,572
租 税 公 課	2,383,542
接 待 交 際 費	6,300
備 品 消 耗 品 費	878,477
貸 倒 償 却 費	17,000
雜 費	4,002,337
合 計	41,820,955

たな卸資産の計算内訳

平成26年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商 品	1,285,942
製 品	786,731
仔 牛 育 成 費	2,014,290
原 材 料	6,300,653
仕 掛 品 (半 成 品)	501,756
貯 蔵 品	200,857
合 計	11,090,229

作業原価報告書

平成25年 4月 1日から
平成26年 3月31日まで

(単位：円)

科 目			金 額
I 材 期 材 合 期 当	料	費	
	首 材 料 棚 卸 高	高	4,328,757
	材 料 仕 入 高	高	48,387,224
	合 計 高	計	52,715,981
末 材 料 棚 卸 高 期 材 料 費	末 材 料 棚 卸 高	高	6,300,653
	期 材 料 費	費	46,415,328
II 労 雇 当	務 人 件 費	費	18,198,243
	用 期 務 費	費	18,198,243
III 経 作 電 水 燃 荷 減 保 機 保 借 雜 当 当 期 期 合 期 当	業 委 託 費	費	53,482,143
	電 力 道 料 賃 却 費	費	6,697,689
	水 道 料 賃 却 費	代	196,582
	燃 料 運 賃 却 費	費	5,853,762
	荷 造 備 修 賃 借 費	費	268,389
	減 価 償 修 賃 借 費	費	3,712,196
	保 險 賃 借 料	費	6,396,440
	機 械 賃 借 料	料	959,808
	保 險 賃 借 料	料	1,375,443
	借 賃 賃 借 料	料	72,225
	雜 費	費	934,088
	当 期 経 費	費	79,948,765
	当 期 総 作 業 費	用	144,562,336
	期 首 仕 掛 品 た な 卸 高	計	4,066,532
合 計 高	計	148,628,868	
期 末 仕 掛 品 た な 卸 高	計	3,197,777	
当 期 作 業 原 価	原 価	145,431,091	

株主資本等変動計算書

平成25年 4月 1日から

平成26年 3月31日まで

商号 有限会社 豊田あぐりサービス

(単位：円)

I 株主資本			
1. 資本金	当期首残高		15,300,000
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>15,300,000</u>
2. 利益剰余金	当期首残高		50,000
(1) その他利益剰余金	当期変動額		0
別途積立金	当期末残高		<u>50,000</u>
繰越利益剰余金	当期首残高	△ 7,772,288	
	当期変動額		
	当期純利益	1,954,837	1,954,837
	当期末残高	△ 5,817,451	<u>△ 5,817,451</u>
その他利益剰余金合計	当期首残高	△ 7,722,288	
	当期変動額		
	当期純利益	1,954,837	1,954,837
	当期末残高	△ 5,767,451	<u>△ 5,767,451</u>
株主資本合計	当期首残高		7,577,712
	当期変動額		
	当期純利益	1,954,837	1,954,837
	当期末残高		<u>9,532,549</u>
II 評価・換算差額等			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
III 新株予約権			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
純資産の部合計			
	当期首残高		7,577,712
	当期変動額		
	当期純利益	1,954,837	1,954,837
	当期末残高		<u>9,532,549</u>

第21期 収支決算内訳書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：円)

部門別	収入			支出		
	予算額	決算額	摘要	予算額	決算額	摘要
般管理	9,200,000	8,743,647		22,000,000	20,135,216	
指定管理業務		6,422,528	指定管理料 6,416,000 施設利用料等 6,528		9,610,778	指定管理経費 9,610,778
自主事業		2,321,119	補助金雑入等 2,321,119		10,524,438	人件費等 10,524,438
農作業受託	16,500,000	14,122,079		14,100,000	10,721,183	
指定管理業務						
自主事業		14,122,079	水稲作業 9,036,615 大豆等作業 5,085,464		10,721,183	水稲経費 4,089,572 大豆等経費 6,631,611
無人ヘリ農業散布	100,500,000	102,764,904		92,000,000	92,372,629	
指定管理業務						
自主事業		102,764,904	農業散布作業 102,764,904		92,372,629	農業散布経費 92,372,629
堆肥製造販売	4,200,000	2,694,356		3,000,000	3,704,609	
指定管理業務		544,000	指定管理料 300,000 施設利用料 244,000		612,427	指定管理経費 612,427
自主事業		2,150,356	堆肥販売等 2,150,356		3,092,182	堆肥製造等経費 3,092,182
ライスセンター	9,100,000	9,174,119		5,900,000	5,244,222	
指定管理業務		6,663,496	施設利用料 6,663,496		2,956,470	指定管理経費 2,956,470
自主事業		2,510,623	運搬・資材費等 2,510,623		2,287,752	運搬・資材費等 2,287,752
温室ハウス	12,000,000	8,003,411		14,000,000	13,011,725	
指定管理業務						
自主事業		8,003,411	サラダホウレン草 8,003,411 イチゴ・トマト		13,011,725	農産物生産経費 13,011,725
果樹	7,200,000	6,140,731		7,500,000	5,161,854	
指定管理業務						
自主事業		6,140,731	梨・ブドウ等 6,140,731		5,161,854	農産物生産経費 5,161,854
地域食材供給施設	38,000,000	37,678,899		33,600,000	35,735,660	
指定管理業務					163,800	指定管理経費 163,800
自主事業		37,678,899	竹膳 13,826,981 物販 23,851,918		35,571,860	竹膳経費 13,324,229 物販経費 22,247,631
精米・製粉施設	1,900,000	1,403,017		1,800,000	1,245,243	
指定管理業務		1,403,017	指定管理料 100,000 施設利用料 1,303,017		1,245,243	指定管理経費 1,245,243
自主事業						
体験・都市農村交流	6,100,000	5,586,423		6,400,000	5,914,363	
指定管理業務		4,446,082	指定管理料 2,000,000 施設利用料等 2,446,082		4,217,645	指定管理経費 4,217,645
自主事業		1,140,341	体験料等 1,140,341		1,696,718	体験等経費 1,696,718
肉用牛繁殖育成施設	5,900,000	7,916,036		7,200,000	9,150,072	
指定管理業務		100,000	指定管理料 100,000		94,802	指定管理経費 94,802
自主事業		7,816,036	子牛販売等 7,816,036		9,055,270	9,055,270
田園空間博物館施設	2,400,000	2,656,325		2,900,000	2,532,334	
指定管理業務		2,656,325	指定管理料 2,600,000 施設利用料 56,325		2,532,334	指定管理経費 2,532,334
自主事業						
合計	213,000,000	206,883,947		210,400,000	204,929,110	
指定管理業務		22,235,448	指定管理料 11,516,000 施設利用料等 10,719,448		21,433,499	指定管理経費 21,433,499
自主事業		184,648,499	自主事業収入 184,648,499		183,495,611	自主事業経費 183,495,611

利 益 金 処 分

I	当期純利益		1,954,837	円
II	前期繰越利益剰余金	△	7,722,288	円
III	次期繰越利益剰余金	△	5,767,451	円

貸借対照表及び損益計算書により、上記のとおり当期末において利益を生じましたが、
1,954,837円を前期繰越損益に充当することにいたします。

平成26年 5月16日

有限会社豊田あぐりサービス
代表取締役 上川正昭



監 査 報 告 書

有限会社 豊田あぐりサービス
代表取締役 上 川 正 昭 様

有限会社 豊田あぐりサービス の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第21期事業年度の貸借対照表、損益計算書及び会計帳簿は、定款に従い財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。

平成26年 5月13日

有限会社豊田あぐりサービス

監査役 山 名 俊 也

